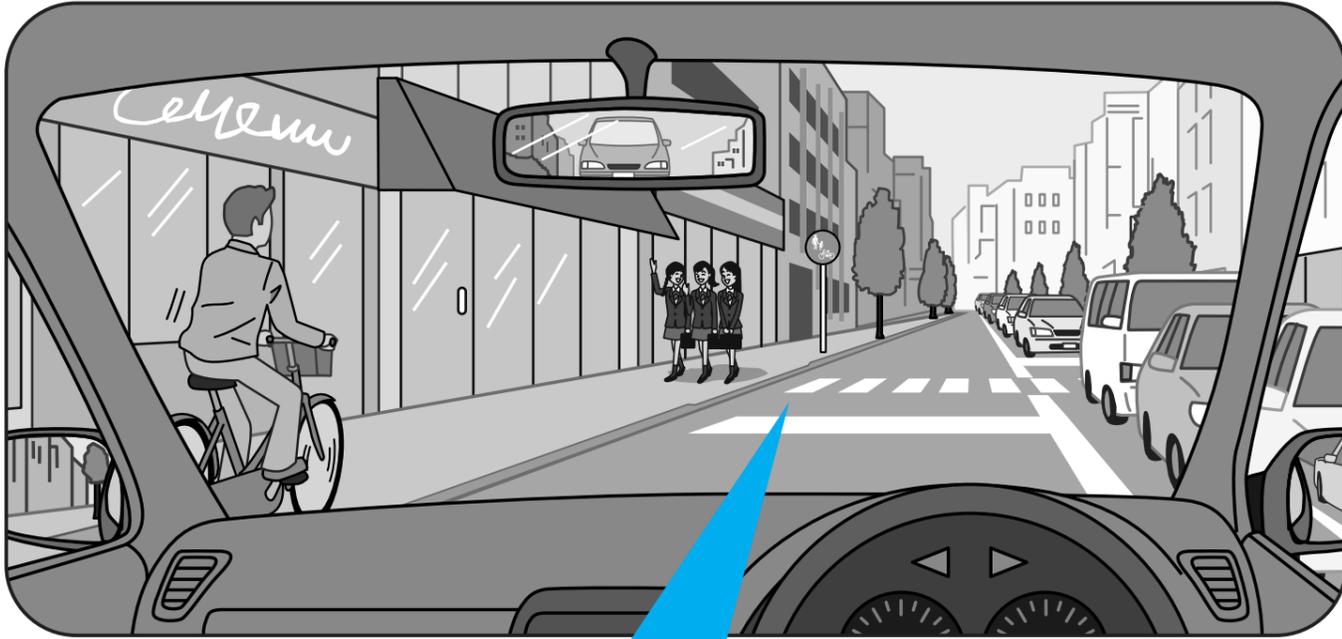


危険予測トレーニング(KYT) — 危険感受性を育てる

第21回 横断歩道の通過 (四輪車)

交通事故を防止するためには、路上で出会うさまざまな危険を予測することが大切です。このコーナーでは危険感受性を高めるための題材を提供します。今回は四輪車のドライバーに、横断歩道を通る時の危険について考えてもらうためのKYTです。



活用方法

- ① 少人数のグループをつくります。
- ② 「交通場面のイラスト」を見せながら、意見を出し合います。
- ③ その後、「解答・解説※」を参考にして、どんなことに気をつけて運転すれば良いか再び話し合ってください。

※「解答・解説」と「交通場面のイラスト(カラー・A4版)」は下記SJホームページでご覧いただけます。またPDFファイルもダウンロード(無料)できます。

ホンダ SJ

検索

【使用上の注意】

- 営利目的での利用はおやめください。
- 内容の無断転載、無断改変、一部抜粋しての利用はおやめください。
- その他、使用に関するご質問はお問い合わせください。

本田技研工業(株) 安全運転普及本部  
TEL: 03 (5412) 1736  
E-mail: sj-mail@spirit.honda.co.jp

あなたは片側1車線の道路を走っており、横断歩道に近づいています。対向車は渋滞し、左側の歩道(自転車通行可)には自転車が走っています。

安全に通過するには、どのようなことを予測する必要がありますか？

©本田技研工業(株)

指導者ファイル 2

このコーナーでは、地域で活躍する交通安全教育の指導者の方々を紹介していきます。



福井県坂井市役所総務課安全対策室交通係交通指導員の皆さん

(左から) 窪田明美さん、高嶋妙子さん、前田佐和子さん、前田幸代さん

子どもたちに楽しく学んでもらうために

福井県北部の三国町・丸岡町・春江町・坂井町が合併して平成18年に新設された坂井市。婦人交通指導員4名で構成される安全対策室交通係では、幼児、小・中学生、高齢者を対象に、毎年約230～260回の交通安全教室を開催している。合併以前、各町で交通指導に当たってきた4人がノウハウを持ち寄って、より内容の濃い安全教室を実施している。

その中の1つが、幼児を対象とした「交通安全はじめてのおつかい」だ。発案者の前田幸代さんは「小さい子は同時に2つのことができません。それを楽しみながら学べる方法を考え、道路の向こう側にあるお店におつかいに行くという状況を思いつきました。「おつかい」と道路を渡るとき「お約束」を両方とも忘れずにできたらマル。はじめはお店に向かってパッと飛び出してしまう子どもが多いのですが、1つ1つ丁寧に教え



ていくと全員できるようになります」。他にも「交通安全スタンプラリー」や子どもたちと一緒に歌うオリジナルの「交通安全の歌」など、さまざまなアイデアや工夫が詰め込まれている。

「子どもたちに教える時は、叱ったり、怒ったりするのではなく、褒めることが大切」と前田佐和子さん。「ダメ!というのではなく、できた時に褒めてあげる。そうすると、次からそれ以上にちゃんとやるようになる。楽しいから、ルールを守る。これが大きなモチベーションにつながり、私たちの話を良く聞き、守ってくれるようになるんです」。

いのちを守るために1回1回心を込めて

高齢者を対象とした教室では、毎回オリジナルの脚本を作り、指導者2人で交通安全に絡めた漫才をやってみせる。窪田明美さんは「笑いながら、高齢者が起こしがちな危険な行動を知ってもらおうと始めました。脚本は、高齢者の立場で、高齢者の気持ちになって作ります。共感してもらって、自分の行動を客観的に振り返ってもらえれば」と話す。

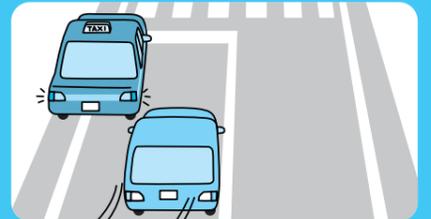
今年で指導歴30年を迎えた高嶋妙子さんは、「この30年で坂井市内の交通事情も変化しました。自動車の通行量も多くなり、高齢ドライバーも増えました。安全教育の重要性を日に日に感じます」と語る。「私たちの活動は、すぐに効果が出るものではありません。ただ小さいうちに繰り返し身につけたことは、ずっと覚えています。今は『あやとりいひよこ編』など、昔にはなかった素晴らしい幼児用教育プログラムがあります。こうした効果的なツールを活用しながら、1回1回心を込めて取り組んでいます」。

幼稚園や保育園などの最後の安全教室で、子どもたちに「いのちを守るための3つのお約束」を書いた手作りのお守りを渡している。その数は毎年1000を超える。4人の思いがこもったお守りは、小学校にあがった子どもたちのランドセルに付けられているという。

SJクイズ ?

- Q1 平成22年中の車両相互の交通事故件数を事故類型別にみると、追突が最も多くなっていますが、2番目に多いのは次のうちどれでしょう？
- ① 出会い頭衝突 ② 右折時衝突  
③ 追越・追抜時衝突 ④ 正面衝突

- Q2 信号機のない横断歩道の直前に停止している車両の側方を通過する時、運転者はどのように通過するべきでしょう？
- ① そのまま通過する ② 徐行して通過する  
③ 停止している車両の前方に出る前に一時停止して通過する



- Q3 平成22年中の原付以上運転者(第1当事者)による交通事故件数を法令違反別にみると、安全運転義務違反(安全不確認、脇見運転、動静不注視、漫然運転、運転操作不適など)が最も多くなっていますが、全体のおよそ何%を占めているでしょう？
- ① 45% ② 55%  
③ 65% ④ 75%



※「解答」は8面下。「解説」は下記SJホームページでご覧いただけます。  
<http://www.honda.co.jp/safetyinfo/sj/>

©本田技研工業(株)